

～団体ヒアリングを通して見えてきた課題～

ジャンル	団体	課題
教育 子育て支援	太子町立中学校 太子町立磯長小学校 太子町立山田小学校	<p>① 子どもの人権学習では、「知識として人権問題を学ぶ」ことから、人権問題とどう向き合い、どのように行動するかを学ぶことが課題。そのためには、様々な体験を通しての学びが重要。子どもたちの触れ合いを通じた障がい者理解は早いですが、発達障がいや学習障がい、知的障がいの場合は理解が難しい面がある。</p> <p>② 子どもたちの人権理解には親など、まわりの大人たちの人権意識に影響を受けるので、保護者に対する人権啓発が重要だが、人権講演会を実施しても、PTA 役員と実行委員くらいの参加しかないという状態である。</p> <p>③ ひとり親家庭など、生活や子育て環境に課題を抱えた家庭の子どもに不登校が多い傾向がある。子どもたちが通いたいと思うような学校にする取り組みとともに、家庭に対する生活支援や子育て支援が重要になってきている。</p> <p>④ 課題を抱えた子どもたちの家庭には養育能力が乏しいケースが増加傾向にあり、親に対する自立支援の取り組みが必要になってきている。</p> <p>⑤ 課題を抱えた子どもと家庭に対する支援は教職員～子ども～家庭という関係だけでなく、学校、スクールソーシャルワーカー、行政、社会福祉協議会、NPO などの民間支援団体などが連携、協力しながら実施していく必要がある。</p>